

## 平成30年度第5回千葉市市民参加協働推進会議 議事録

### 1 日時

平成31年3月28日（木）15:00～16:40

### 2 開催場所

千葉市役所 議会棟第2委員会室

### 3 出席者

- （委員） 福川委員、井上委員、浦本委員、粉川委員、小松委員、中村委員、小柳委員、眞智委員、山本俊子委員、山本佳美委員、吉岡委員  
（事務局） 山根市民自治推進部長、佐久間市民自治推進課長、小高市民自治推進課長補佐、須田主査、北田主任主事、下村主任主事、加藤主事

### 4 議題等

- （1）会長・副会長の選出について  
（2）平成31年度千葉市市民参加・協働実施計画（案）について

### 5 議事の概要

まずは、会長及び副会長を互選により選出した。次に、事務局から「平成31年度千葉市市民参加・協働実施計画（案）」について説明。その後、内容について審議、意見交換をした。

### 6 会議経過

○山根部長

会長が決まるまでの間議事を進行させていただきます。議題（1）の会長選出につきまして、はじめに、議題1「会長及び副会長の選出」について、まず、会長の選出について議題といたします。

市民参加及び協働に関する条例施行規則第18条第1項の規定では、会長及び副会長は委員の互選によることとしておりますが、どなたか立候補もしくは推薦はございますか。

○小松委員

前期に引き続き、福川委員にお願いしたいと思うがいかがか。

（拍手）（福川委員承諾）

○山根部長

よろしいでしょうか。それでは、福川委員は会長席への移動をお願いいたします。

（福川会長あいさつ）

○山根部長

それでは、ここからの進行は福川会長にお願いいたします。

○福川会長

はい、続きまして、副会長の選出ですがどなたか立候補もしくは推薦はあるか。

○小松委員

前期に引き続き、井上委員にお願いしたいがいかがか。

(一同拍手)(井上委員承諾)

○福川会長

続きまして、議題2「平成31年度千葉市市民参加・協働実施計画(案)」について、事務局から説明願う。

○佐久間課長

(資料1、2及び当日配布資料を説明)

○福川会長

それでは、この件について何か質問等はあるか。

○中村委員

いくつか事前に質問をしたが、時間のない中丁寧に回答していただき、感謝する。そのうえで、【質問4】における一部の地域(約一割)というのは、世帯数の一割か。また、地域団体というのは自治会であるのであろうが、地域新聞社へ支払いがあるのと同様にいくらか支払っているのか。

○佐久間課長

委託事業として対価を支払っている。

○中村委員

方向性として、5年、10年先までやるのか、市の方向性が見えない部分がある。

○眞智委員

単価は戸建や集合住宅、住宅密集地域とそうでない地域によって違うはずであり、適正な単価を算出するのは難しい。急にやめることは難しいと思うが地域団体への委託はやめた方がいい。

○福川会長

市政だよりの配布は、重要な市民参加の手段である。

○中村委員

【質問5】における墓地のアンケートについて、無作為に抽出した市内在住の40歳以上の世帯主3,000人とあるが、これで市は何を知りたいのか疑問がある。

○山根部長

資料2のP16にあるとおり、市民意識を把握し施策等に反映するため需要の動向を把握する、とあるので必ずしも墓地を持っている方々のみを対象とするものではないということが推察される。

○小柳委員

世帯主だけというのがひっかかる。墓地に対する考え方は様々で世帯主対象となると、どうしても男性が中心となってしまい、少し違う方向となってしまうのではないかと。

○山本俊子委員

同一世帯でも、例えば保険証を別に持ちたい方であれば女性でも世帯主ということもある。

○福川会長

アンケートは市民参加の重要なものであるので、対象者の設定はしっかりやってほしい。

○粉川委員

5年前にさいたま市が行っている同様のアンケートは無作為抽出で、世帯主に限らず行っているようだ。

○眞智委員

【質問1】については私がしたものだが、審議会によっては発言しない委員のいるものがある。公募委員に限らず審議の内容によっては発言が難しい会議もあり、就任前のレクチャー等がないと何のために就任するのかわからない、ということがないようにしてほしいという意図からのものである。

また、附属機関ではないが、意見交換会で公募となっても入っていない会議もあるので、積極的に入れられるようにしていただきたい。

○福川会長

その他にはあるか。

○吉岡委員

ここに挙げられている項目は、市と市民の一対一の羅列であり、市民参加ではあっても市民協働ではないと思うが、これがこの会議の全貌なのか。

○福川会長

この議題1は、条例に定められている審議事項である。もちろん、その他の事項も審議はする。

○吉岡委員

私自身も一プレーヤーとし活動しているが、ここには市民同士の協働が掲載されていない。地域運営委員会にも興味があるのだが、ここには掲載されないのか。

○佐久間課長

現在改正を目指している条例改正案では、市民の自立した活動を加えて今後は市民自治と定義している。今までは、行政が一枚かんでいたものを協働と呼んでいた。市民同士の協働等は、条例改正後に入ることとなる。

また、条例改正後は本計画の内容も変更しなければならないが、市民の自立した活動に対して市がどう関与すべきか今後、皆様と議論しながら検討していきたい。

○吉岡委員

市民同士の自立した活動を活性化させるために、市が取り組んでいくのかという観点とすればよいのではないか。

○福川会長

市民参加や協働という分野は、日々進化している。今後は必要があればこの会議でも話し合っていたい。

○佐久間課長

今の協働は行政ありきであり、市民独自の活動や市民同士の活動は本計画の対象外となっている。今後は行政の関与の仕方についても考えていかなければいけない。市民の自立した活動について市がどう計画していくかというのは難しい課題であると感じる。やり方としては、スタートアップ事業を行って、いずれ市民の自立した活動へ結び付けていくということも考えられる。今後検討していきたい。

○吉岡委員

これだけ市民参加の入口がある中で、市民への公開の仕方はどのようにお考えか。この計画がそのまま公開されるのか。

○佐久間課長

ホームページ等で公開する。

○吉岡委員

これが非常にわかりにくくて、もっとエクセル等でソートしやすく公開しないとこれだけの入口があって、誰も入ってこない。だから公募委員も集まらない。自分もこの計画は知らなかったし入ろうとも思わなかった。市民参加を促すのであれば、もっとわかりやすくしないといけないと思う。

○福川会長

今のようなご意見は以前からあり、最近になって分野別を加えた。以前は市の関係課へ市民参加や協働を促す意味でもこの計画を作成していたが、現在はだいぶ定着してきた感はある。

○吉岡委員

市は参加してほしいというのに、参加しづらくなっているのは不思議だ。

○眞智委員

この計画はそれぞれの所管課が市民自治推進課へ提出しているので、市民へ公開する目線になっていないのではないか。パブリックコメントを例にあげると、意見募集中の資料が配架されてはいるが広報されていないと感じる。もう少し市全体で取り組んでいかなければならないのではないか。インターネットだけでなくアナログ情報も必要である。

○小松委員

今までの議論は以前もあった。エクセルでソートできるようにするのは、やった方がよい。中身を濃くして裾野を広げていくには、容易にキーワード等で検索できるようにして、そのうえでグッドプラクティスを示していくようなことも考えていく必要もあるのではないか。よい取組みは積極的に広報してほしい。ぜひチャレンジを。

○福川会長

この計画はもう何年も行っているので、たまに虫干ししてみる、いわゆる白書的なものであるが、そろそろ次のステップへいってもよい。条例も改正されるので。

○眞智委員

事業ごとにまとめるのならば、簡単にできるのではないか。

○吉岡委員

これだけデータが揃っていれば、簡単にできる。

○佐久間課長

昨年ご意見いただいたので、所管課へリンク先があるものは掲載している。また、現在はPDFファイルで掲載しているが、浦本委員からもエクセルデータでの公開をという

ご意見もあった。我々行政は基本的にPDFファイルでというのがあがるが、エクセルファイルで編集できる方が使いやすさの点では有効であるとする。

○吉岡委員

エクセルであると、キーワードからセルコメント機能を使うとよい。そうすることによってシンプルな表になる。

○佐久間課長

基本的に白書のようなものを公開するという発想が念頭にある。

○粉川委員

オープンデータを推進している千葉市なのだから、生のデータを出していくことが必要ではないか。市の持っているデータは市民の財産であるというオープンデータの理念に立ち返っていくことが必要である。

○井上委員

やはり、動きが連動していないように感じる。様々な事業がコラボレーションしていくことが必要である。職員の意識改革も必要である。

○吉岡委員

私は、生涯大学校でファシリテーター養成に関する講師をさせていただいた経験があるが、受講生の皆さんはボランティアする気はなく、時間つぶしに来ている。これを活用しないと税金とスキルの垂れ流しである。市長がツイッターで対話会を行っているが、ここへ市民ファシリテーターに入っていただくなど活躍の場を与えれば有効に活用されるのではないかと。

○佐久間課長

市長は電子会議を先導しているが、現段階では市民全員が参加できるツールを持っていないので、難しい部分もある。

○吉岡委員

ツイッター対話会では、市民の当事者意識を感じることができる。

○福川会長

時代に合わせてアップデートしていくかが、今後の課題である。

○粉川委員

インターネットを使った電子会議については、課題がたくさんあるのは事実だが、そろそろネットコミュニケーションを使った取組みを再検討する必要がある。しかし、かなり

の準備と対策が必要であるのも事実なので、少し長期的な視点で考えていくことも必要である。

さらに、この形で毎年計画、実施状況をまとめている取組は他自治体と比べてきちりやっている。その意味でも、条例改正を契機に楽しく振り返りを行っていくことが必要である。よって、総括は必要である。

○福川会長

まったくそのとおりである。このままでいけば来年には条例が改正されるので、ここは転機であり思案のしどころである。

○山本佳美委員

P10のワールドカフェと市民シンクタンクは同じような取組であるがこの連動性はどうなっているのか。

○佐久間課長

市民シンクタンクは、毎年行っているのものでテーマを決めて議論している。今年度はこのテーマとなっている。ワールドカフェは政策の課題出しをして共有するものであると認識している。

○山本佳美委員

例えば市民シンクタンクでは年間通しての議論があるが、ワールドカフェでの議論の結果のフィードバックをしっかりとしていないといけない。

○中村敏子委員

例えば、このワールドカフェのプランニングを市民活動支援センターが実施するなど、ある意味協働で取り組めないか。

○佐久間課長

これまでも、他事業では連携や協力は行っている。

○中村敏子委員

個人がいろんなアイデアが出るようなプランニングが必要である。

○福川会長

次期基本計画の策定は、千葉市にとっては大きな仕事であるので、全体的な戦略やプランが見えていたほうがよい。

○吉岡委員

そのとおりである。小さなワールドカフェをたくさん作ってその代表が100人集まるような仕組みを作ればさらに盛り上がるのではないか。

○浦本委員

最近、ワールドカフェは流行っている。地域の方と一緒に巻き込んでいけば盛り上がる。私も昨年携わったものがあるが、地域の興味ある方を巻き込めればよい。

○眞智委員

おそらくシンクタンクの活動がメインであると思うが、さらにワールドカフェが入っているであろう。

○浦本委員

P16のシェアサイクルの件で、運用は業者が行っているが利用者の声は業者に届いているので、それを共有すべきではないのか。

○佐久間課長

所管にご意見を伝える。

○福川会長

それでは、これは審議事項であるので承認でよろしいか。

(異議なし)

条例改正案についてはいかがか。

○佐久間課長

第2回定例会における議案提出に向けて準備を進めている。

○小柳委員

パブリックコメントの結果についてのフィードバックはあるか。

○佐久間課長

後日、メールにて報告する。

○小松委員

本日はせっかくいい意見が出たので、よい仕組みを今後議論、検討すべきである。



○福川会長

他に事務局から何かあるか。

○佐久間課長

次回の会議の開催日は、平成31年8月下旬を予定している。

(終了)